

対象国の条件: IFNA重点対象国とその他アフリカ地域

研修コース番号: (A) 201984920-J002/ (B) 201984957-J002

案件番号: (A) 201984920/ (B) 201984957

主分野課題: 農村開発/農村生活環境改善

副分野課題: 保健医療/その他保健医療

使用言語: (A) 英語/ (B) 仏語

**案件概要**

本コースは、IFNAの取り組みを促進するための人材育成を目的としている。対象者は、IFNA重点国およびその他アフリカ地域において、農業・農村開発を通じた国民の栄養改善に取り組む中央政府機関の行政官とし、所属部署における農業を通じた栄養改善プログラムを計画、実施、管理するために必要な知識と能力の強化を目指す。また、本コースで得た知識をもとにアクションプランを作成し、帰国後に所属部署における栄養改善のための取組を推進することが期待される。

目標/成果	対象組織/人材	
<p><b>【案件目標】</b> 研修員が農業を通じた栄養改善プログラムを計画、実施、管理するために必要な知識と能力を習得する</p> <p><b>【成果】</b> 研修員はプログラムを通じて以下の1)から5)を達成することが期待される。 1) 自国の栄養改善における課題を明確化できる。 2) 栄養不良に関して基礎的な説明ができる。 3) 栄養改善に関する国際的な潮流と枠組みについて説明ができる。 4) 農業を通じた栄養改善に有効な方法、取り組みについて説明ができる。 5) 1)から4)を踏まえ、農業を通じた栄養改善を実施・促進するためのアクションプランを策定する。</p>	<p><b>【対象組織】</b> 農業を通じた栄養改善事業を行う中央・地方政府機関</p> <p><b>【対象人材】</b> 1) 職位: 農業を通じた栄養改善に関わる中央・地方自治体の行政官(政策立案に携わる者) 2) 職務経験: 当該分野で2年以上の経験があること 3) 年齢: 30歳～45歳であることが望ましい</p>	
<p><b>内 容</b></p> <p>IFNAは、アフリカにおける食と栄養のための実践活動の加速化を目的としており、農業、保健、教育等様々な分野の関係者間の実質的な連携と相乗効果の醸成も一つの特徴的な取り組みとしている。栄養不良状態の改善を実現するためには、栄養改善の啓発に加え、人々が必要な栄養素を含む食料の量と多様性を確保するために農業・農村開発の取組が必要とされる。特に農村地域においては、栄養不良率が高いことから農業生産性の向上とともに農村社会全体の生計向上や人々の生活の改善に働きかけることが必要である。</p> <p><b>【事前活動】</b> 研修員は所属組織の構成、栄養改善にかかる政策や国家戦略、栄養不良状況および課題についてインセプションレポートに取りまとめ、来日後に予定されているインセプションレポート発表会に向けて発表資料を準備する。</p> <p><b>【本邦プログラム】</b> 研修員は本邦プログラム中の講義、討議、演習、視察等から農業を通じた栄養改善、またIFNA重点対象国においては各国で策定されたIFNA Country Strategy for Actions (ICSA) を推進していくために必要な知識や活用可能なアイデアを習得し、それをもとにアクションプラン案を作成する。</p>	<p><b>本邦研修期間</b></p> <p>2019/5/12～2019/6/1</p>	
	<p><b>担当課題部</b></p> <p>農村開発部</p>	
	<p><b>所管国内機関</b></p> <p>(A) JICA筑波 (研修業務) (B) JICA筑波 (研修業務)</p>	
	<p><b>関係省庁</b></p>	
	<p><b>実施年度</b></p> <p>2017～2019</p>	
<p><b>主要協力機関</b></p>	<p>(A) 特定非営利活動法人国際農民参加画型技術ネットワーク/ (B) 特定非営利活動法人国際農民参加画型技術ネットワーク</p>	
<p><b>特記事項 及び ホームページ</b></p>	<p>IFNAの重点対象国(ブルキナファソ、エチオピア、ガーナ、ケニア、マダガスカル、マラウイ、モザンビーク、ナイジェリア、セネガル、スーダン)</p>	